

## 『未来を展望する視座をもって』

吉田真司

2024年度の歩みを感謝いたします。標語の「キリストに結ばれて、共に歩むわたしたち」を心に、今、次月末の定期総会に備えて各部の具体計画が進められています。また明日には今年度の役員研修会を開催し、各部の働きについて確認、それぞれの執事・部長の役割を覚え合う予定です。世的にはゴールデンウィークですが、その貴重な休日を教会に仕える働きのため費やされる役員のために感謝とお祈りをお願いいたします。

当教会は今年の12月に創立55周年を迎えます。5年後(60周年)、また15年後(70周年)、更に言えば45年後(100周年)の当教会はどのような姿であるのか、希望的観測を持って思い描きながら、共に歩みたいと思います。次月の総会に上程する「第二次中長期計画」(案)では、これからの教会のために必要な施策を明示していきます。内容は大項目に絞ったものですが、その一つひとつの課題につき、どのように共に取り組んでいけるのか、その肉付けはこれからの共働作業です。これまで目指してきた教会の姿を大切にしながら、同時に、今の時代において求められている変革は何なのか、その時代を共に生きているわたしたちとして、更にこれからの教会を担っていく世代の声をよく聴きながら、これからの「日本バプテスト相模中央キリスト教会」を共に建てていきたいと思ひます。

「教会を建てる」と言えば、1883年の建築開始から140年あまり経つ世界遺産サグラダ・ファミリア教会がメインタワーの「イエスの塔」の完成をもって2026年に完成の見通しになったと聞きます。この件につき、朝日新聞のコラムにて(当該教会を手掛けた)建築家ガウディの弁が紹介されていました。「いったい教会はいつ完成するのか?」と問われたガウディは「神はお急ぎではない」と答え、さらに「(たとえ完成が自分の死後になったとしても)悲しむべきことではない。(後の者たちが教会の建設を続けてくれれば)さらに壮麗なものとなろう」と答えたといひます。教会づくりという大事業に際して、急がずじっくりと、そして未来を展望する視座を教えられる思ひです。

## 教会の定例集会

|  |       |   |
|--|-------|---|
| 主日礼拝   | 日曜日   | 午前 9:00~10:00 (相模原礼拝)<br>午前10:40~12:00 (会堂礼拝) |
| 教会学校<br>(嬰兒、幼児、小学生、中高生、<br>青年、成人、英語、聖書入門の各クラス) | 日曜日   | 午前 9:30~10:20                                 |
| 祈り会  | 水曜日   | 午後 7:30~9:00                                  |
| 金曜集会   | 金曜日   | 午前10:30~12:00                                 |
| 家庭集会 (相模原)                                     | 第二火曜日 | 午前10:00~12:00 (竹村家)                           |
| (すずかけ台)  | 第三木曜日 | 午後 1:30~3:00 (長谷川家)                           |

## 日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&amp;FAX046(274)3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>